



5月の園だより

令和6年5月1日
目黒区立田道保育園長

晴れ渡った空に、新緑の青葉が風に揺られ、5月の爽やかな季節となりました。園庭には5歳児クラスの子どもたちが作った鯉のぼりが風に吹かれて気持ち良さそうに泳いでいます。

今月は子どもの日 端午の節句があります。端午の節句は「子どもの人格を重んじ、子どもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」とも言われ、端午の節句を子どもの日と呼ぶようになったそうです。子どもたちが元気に育ち、大きくなったことをお祝いするだけでなく「お母さんに感謝する」という意味もあるようです。五月人形には「子どもの健康と成長を願う」鎧や兜には「病気や事故から守ってもらえるように」という意味も込められています。保育園でも子どもの日の行事の風習や意味を伝承し、保護者の方と一緒に子育てしながら、子どもたちが元気でたくましく成長できるよう支援していけるようにしていきます。

先月は5歳児クラスが懇談会を終え、今月は0～4歳児クラスが予定しています。入園、進級後の子どもたちの姿や一年間クラスで大事にしたいことをお話したいと思います。お忙しいとは存じますが、是非参加していただきますよう宜しくお願いいたします。

今月の予定

子どもの日集会（3・4・5歳児クラス）
春の遠足（4・5歳児クラス）



懇談会について

0歳児クラス
2歳児クラス
1歳児クラス
3歳児クラス
4歳児クラス

各クラスの子どもたちの様子をご紹介します



「はりきって」

くじら組（5歳児クラス）

毎日欠かさないことの1つに人数報告当番があります。2人組でくじら組を出て、いるか組、ペンぎん組、調理室、事務所の順で回ります。帰りの会で翌日の当番を確認しているのですが、「やったああ、明日は私がお当番だ」「〇〇ちゃん一緒だね」「早く来なくちゃ」と当番への意識と喜びを感じたり、クラスを代表する責任感が伝わってきます。“ぼくがやる”“わたしがやる”という頼もしい気持ちと“少し緊張するけど友達と一緒にだから頑張れる”という気持ちが見られ、さすがくじら組の子どもたちだなと思う姿になっています。



「いるか組だから」

いるか組（4歳児クラス）

入室するとすぐに好きな遊びに一目散です。最近では登園してくると「幼虫見る！」とクラスで飼育している昆虫観察に夢中になったり、友達が来ると「〇〇くんおはよう！昨日の続き、やろう！」と粘土で食べ物を作ったり、積み木でタワーを作ったりと一緒に楽しんでいます。まだまだ進級の不安を伝えてくるお子さんもいますが、日に日に笑顔が増えている姿に嬉しさを感じています。生活の中では、ただただ洋服を見せ「すごいでしょ、いるかさだからたためるんだよ！」と教えてくれたり、片付けでも「いるか組だから速いんだよ！」と誇らしげな表情からは“いるか組”への進級の喜びを感じます。子どもたちの張り切る姿を受け止め、そばで見守りながら一緒にたくさん遊んでいきたいと思ひます。



「ほいくえん、たのしいね」

めだか組（0歳児クラス）

保育士や部屋の環境にも慣れて、腹這いで目にしたものに手を伸ばしたり、這い這いをして気に入った玩具に向かっています。「かっちゃんかっちゃんかじやのこ」「なかなかほい、そとそとほい」と保育士が歌いながら玩具を打ち鳴らすとニコニコしながら身体を揺らしたり、同じように玩具を床に打って楽しんでいきます。天気の良い日は園庭にも遊びに出かけています。風に揺れる葉っぱに手を伸ばしたり、マットや砂場に降りて砂の感触を確かめてみたり、少しずつ活動の場を広げていっています。保育士と安心できる信頼関係を築きながら、これから色々なことを楽しんでいきたいと思っています。



「むし、みつけたよ」

あひる組（1歳児クラス）

あひる組の部屋の環境に慣れてきた子どもたちは、それぞれ好きな遊びを保育士と一緒に楽しむことで、笑顔を見せて遊ぶ姿が増えてきました。園庭では、春の訪れに虫たちが土から顔を出して動き回っているのを見つけては、虫をじっと見つめて楽しんでいます。ありをみつけると「ありいいいい」と保育士に伝えたり、花壇の所でも「あっ（いたね）」と発見したことを友だちや保育士に嬉しそうに知らせ、子ども同士で「いたね」と顔を見合わせている姿がとても微笑ましいです。保育士との関係も少しずつ築いてきて、言葉や仕草で“築山登ってみたい”“シーソーしてみたい”“これみつけたよ”等伝えてくれる姿を大切に楽しく一緒に遊んでいます。



「しゅっぱつしまーす」

らっこ組（2歳児クラス）

入室時、少し照れた表情をのぞかせたり、「ママがいい」と泣くこともあります。が、「そうだったのね」と一人ひとりの思いを受け止めると、好きな人形や汽車に目を向けて遊び始めるようになりました。棚にかまぼこ板を並べている子がいたので「これ何かな？」と聞いてみると線路に見立て、お気に入りの汽車を持って走らせています。「次は目黒駅～」と保育士が言うと「よこすかせん」と答えてから「とまりまーす」と駅に向かっていました。園庭では、幼児クラスの鬼ごっこに入ったつもりになって一緒に逃げたり、友達と一緒に楽しく走っています。築山に登ると「おーい」と手を振り、自分で登れた満足感から笑顔を一ぱい見せてくれます。好きな遊びを友だちや保育士とたくさん楽しんでいきます。



「おおかみにげろ」

ペンギん組（3歳児クラス）

ペンギん組がスタートして1カ月。好きな遊びを見つけて、友達と一緒に恐竜や動物になりきったり、思いきり走って遊んでいます。園庭に出ると「せんせい、オオカミになって」と子どもたち。子ヤギになった子どもたちがタイヤのおうちに入ると、早速オオカミがやってきます。「おかあさんだよ、ドアをあけてちょうだい」とオオカミが言うと早く追いかけて欲しい子が「はーい」と開けそうになりますが、オオカミが「手をみてるかい」と聞くと、「てをみせて」「くろーい、オオカミだ」「つぎはあしをみせて」とやりとりを楽しんでいます。次に子どもたちがオオカミになると砂を塗って白くした手がずらりと並んでオオカミになりきっているのが可愛らしいです。最後には「オオカミだぞー」「きゃー」と保育士も一緒にたくさん走り回り、汗びっしょりになりながら楽しんでいます。